

経営比較分析表（平成29年度決算）

北海道 月形町

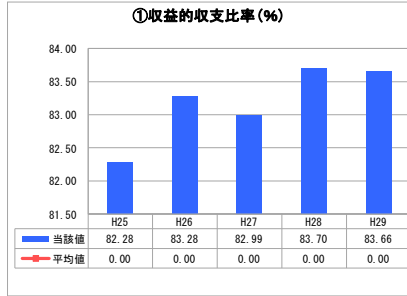
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	54.02	91.41	4,579

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,298	150.40	21.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,762	1.57	1,122.29

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



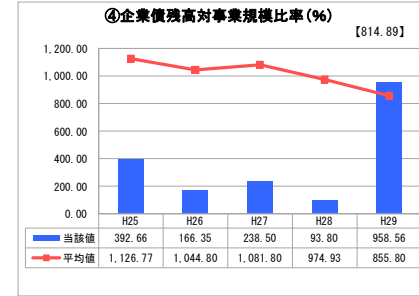
「単年度の収支」



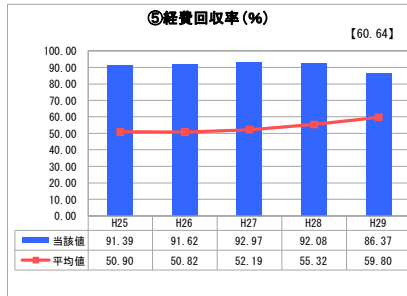
「累積欠損」



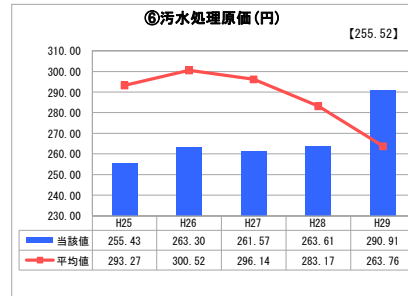
「支払能力」



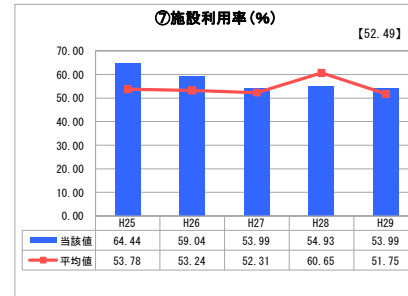
「債務残高」



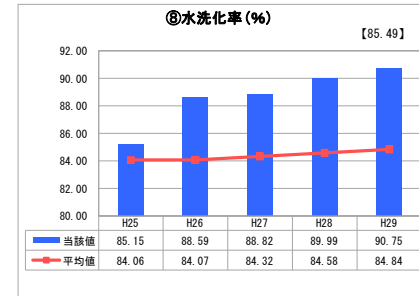
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

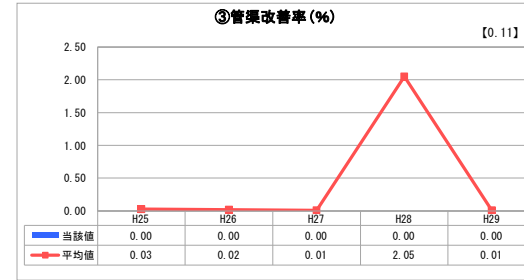
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 83%程度の数値を推移している。資本平準化債の活用により一般会計からの繰入金を押さえている状況であるが、今後も経営改善に向けた努力が必要である。

② —

③ —

④ これまで類似団体平均値より低い水位であったが、今年度は一般会計繰入金が減ったため、大きく増加し類似団体平均値を上回る結果となった。

⑤ 類似団体平均値より低い値で推移しているが、100%を下回っていることから、使用料収入以外の収入に依存している。使用料の回収に一層の努力が必要がある。

⑥ これまで類似団体平均値を下回る値であったが、今年度については、燃料、薬品費の上昇や委託料に掛る人件費増等により、数値が上がった。今後は施設の適切な管理による経費削減と接続率の向上により有収水量を増加させる等の努力を行っていく。

⑦ 類似団体平均程度の数値で推移しているが、人口減少や高齢化により利用率の低下がみられる。今後は施設の規模縮小や統廃合等を検討する必要がある。

⑧ 類似団体平均値より大きく上まわっている。接続戸数が微増であるが、単身世帯が多く水量の増加には繋がっていない。

2. 老朽化の状況について

③ 耐用年数が経過するまで期間があるが、劣化状況を把握し適切に更新を行う必要がある。現在、最適整備構想を策定中であり、今後は最適整備構想により計画的な更新を行っていく。

全体総括

全体的に類似団体の経営に近い状況である。水洗化率は高い数値を維持しているが、経費回収率と施設利用率がやや減少しており、処理原価に影響を及ぼす結果となった。今後は、有収水量の増加に向け接続率の向上に努め、経費回収についても対応策を検討し100%に近付くよう努める。

施設の老朽化については、機能診断により月形地区施設の電気系統の更新が急がれる状況であることが判明した。今後は最適整備構想に沿って計画的で効率的な更新を行っていくよう努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。